

平成30年11月22日

二宮町教育委員会会議録

(定例会・臨時会)

二宮町教育委員会

1. 開会時間 9時 30分

2. 閉会時間 12時 1分

3. 教育長名 府川陽一

4. 署名委員 岡野敏彦

5. 教育長及び委員

出欠席	職名	氏名
○	教育長	府川陽一
○	教育委員 教育長職務代理者	原道子
○	教育委員	岡野敏彦
○	教育委員	山内みどり
○	教育委員	渡辺優子

6. 出席者氏名
教育部長 志賀道郎
教育総務課長 小笠原純二
生涯学習課長 小島孝紀
教育総務課教育総務班長 竹本直昭
教育総務課教育総務班副主幹 生井幸子
教育総務課指導班長 寺口瑞紀
教育総務課指導班主幹 永井貴幸
教育総務課指導班主幹 境野朋美

7. 傍聴者 1名

8. 調製者 教育総務課教育総務班副主幹 生井幸子

平成30年度11月教育委員会定例会会議録

日 時 平成30年11月22日（木）
午前9時30分より
場 所 町民センター2Aクラブ室

1. 開会宣言

（教育長） 平成30年度11月定例教育委員会議を開催します。

2. 署名委員の指名

岡野委員を指名する。

3. 教育長事務報告

（教育長） 教育長事務報告を資料に基づいて行う。

（教育部長） 政策会議報告を資料に基づいて行う。

（各課長） 各課の事業報告・事業予定について資料に基づいて説明する。

- （岡野委員） 政策会議の報告にありました、ブロック塀の対応への補助ですが、ブロック塀以外にも含まれるものでしょうか。
- （教育部長） コンクリート塀なども含まれるようです。
- （原委員） どんな補助制度になりますか。
- （教育部長） 議会にお諮りするものなので、詳細は議決後に報告させていただきますが、他の市町村では、撤去費用の何分の一、としている事例が多いようです。
- （山内委員） 図書館のアフターブックスタート、良い取組みだと思います。子育て中の保護者さんが気軽に足を運べる場所としての取り組みや工夫を期待しています。
- （渡辺委員） 図書館託児サービスについてですが、時間がもう少し長いと使いやすと思うのですが、いかがでしょうか。
- （教育長） サービス開始から数年が経過しますが、これまで、利用者は多くありませんでした。託児サービスの仕組みの説明をお願いします。
- （生涯学習課長） 現在では、午前10時から12時のうちの1時間で設定しています。ご意見をいただきましたので、持ち帰って検討したいと思います。
- （教育長） 11月11日に実施した青少年健全育成事業でのせっけん作りのような、従来よりも短時間で参加できる事業を引き続き検討していきたいと考えています。

5. 報告・協議事項

(1) 全国学力学習状況調査について

(指導主事) 全国学力学習状況調査について、資料に基づいて説明。

- (教育長) 例年に比べて、報告が早くなった理由を教えてください。
- (境野指導主事) この結果を現在の子ども達への指導に活用するために、取りまとめや分析などを早急に進めました。
- (山内委員) これまでの調査結果では、小学校平均が全国平均と近く、中学校が上回る結果でしたが、今年度は違いますね。
- (教育長) 学年による差や、塾など学校以外の場での個人での取り組み、家庭環境の差によるものと考えています。一方で、これは、調査であるという趣旨を踏まえて、ただ良い点を取れば良いというものでなく、教員の指導のあり方や、家庭での過ごし方について、考えるためのものと捉えています。
- (山内委員) 学校での指導も大切ですが、家庭の状況変化もしっかりと見つめていく必要があると思います。教育だけでなく、子育て環境全般という意味で、放課後の子どもの居場所づくりについても、考えていく必要があります。先ほど、教育長事務報告の中で、放課後子ども教室の視察をされたというお話もありましたが、様々な取り組みが必要だと思えます。
- (教育長) 下校時や教室後の安全確保など課題への対応も必要です。
- (岡野委員) 数学Bが特に低いのですが、それはどのように対策しますか。数学Bで求められる思考力は学校で数式を解くだけでなく、その応用として、日常生活、将来にも必要なものです。全国平均と同じだからよいということではなく、今の日本全体で求められている重点項目の一つになっていると認識した方がいいと思います。文部科学省はそこに危機感をもって、2020年の学習指導要領にプログラミングが盛り込まれているのはこのためです。論理的な思考力は、例えば、小学校4年生の国語にある「ごんぎつね」の心理戦を読み解くためにも必要なものです。要は、いろいろな科目が互いにつながっていて、論理的な思考力を身につけることは単に数学Bの問題にとどまらないと考えた方がいいと思います。プログラミングが単に「パソコンの使い方を覚える」程度にとどまらないと考えるべきだと思います。その他のところでは、自ら地域と関わろうとする力量については、二宮町はこれからコミュニティ・スクールがスタートするので、それを通じた地域全体での取り組みが必要だと感じました。
- (山内委員) 地域や社会に関心のある児童生徒ほど正答率が高い傾向というのは、家庭、保護者も共に地域や社会に関わるという事の表れだと思います。コミュニティ・スクールの取り組みにも通じることだと思います。
- (原委員) 3点気づいたことがあります。1つは、小中一貫教育校の構想と関わって

きて、研究会においてもこの結果を扱っていただき、義務教育9年間という目線での取り組みをお願いしたいということです。2つ目は、ICTの優位性についてです。ICT教育の内容や有効な機材の分析、また、ICT環境整備への地方自治体の財政状況との連動があるのかが気になります。最後は、家庭学習ができる子は、テストだけでなく、しっかりと学力を身につけているという印象があります。家庭での学習のあり方、学習習慣を身につける事が重要だと感じています。一方で、家庭環境もありますので、コミュニティ・スクールの仕組みの中で、地域の方にも関わっていただけると良いと思います。

- (岡野委員) ICTの優位性については、具体的にどういった部分に効果が出ているのか分析をお願いします。効果の分析はQCTの観点でみるといいと思います。QはQuality、授業の「質」です。今まで紙を使っていた授業ではできなかったことができるようになったか、紙を準備できない環境での授業ができるようになったかという視点です。Cはコストです。ICTを使うことで紙の使用量や先生方がそれを準備する時間、要は人件費がどのくらい減ったかという視点です。TはTimeです。ICTを使うことで授業時間を短くできたり、それによって授業のスピードを上げたりする視点です。QCTのどの部分で効果が上がったかという視点が必要だと思います。
- (渡辺委員) コミュニティ・スクールへの期待感が大きい所ですが、先日、学校と地域の方との会合があり、いわゆる、地域の方というのが、どういった方々になるのかが話題になりました。関わっていただける地域の方々のメリットがあることや、取り組みをコーディネートしていただける存在など、実際に進めていくにあたっては、行政側からのバックアップも必要だと感じました。
- (教育部長) 学校運営協議会という部分では、学校の運営へのボランティア的な内容になっていますが、放課後子ども教室といった部分では、社会教育的な取り組みも必要になっていくと考えています。学校から地域への一方的なお願いだけでなく、地域からの発案による取り組みができるように考えていきたいと思っています。

(2) 二宮町・町内一周継走大会について

(生涯学習課長) 二宮町・町内一周継走大会について、資料に基づいて説明。

(3) その他

— 次回教育委員会議予定 —

(教育総務班長) 次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

* 次回教育委員会議予定

— 傍聴者退室 —

4. 付議事項

(1) 議案第14号 平成30年度二宮町教育委員会表彰被表彰者の選考について

— 非公開 —

(2) 議案第15号 平成30年度二宮町一般会計補正予算(案)について

— 非公開 —

12:01 閉会